

Fortunate Music Through The Power Of Otodama.



音霊幸ふ国の調

おとだまさきわうくにのしらべ

日本音楽集団

PRO MUSICA NIPPONIA

第233回定期演奏会

2021年6月10日(木) 午後7時開演(6時30分開場)

豊洲シビックセンターホール(豊洲シビックセンター5F)

演出:山崎千鶴子 構成:桜井智永 舞台監督:中島 隆

日本音楽集団 <http://www.promusica.or.jp/> TEL 03-3378-4741

■主催/特定非営利活動法人 日本音楽集団 ■後援/(公財)日本伝統文化振興財団

■助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会



日本音楽集団
www.promusica.or.jp



公益財団法人日本伝統文化振興財団
JAPAN TRADITIONAL CULTURES FOUNDATION

新八千代獅子

三木稔 編曲・構成 藤舎成敏 四拍子手付 畦地慶司 編曲

[笛] あかる潤 [尺八] 元永拓
[三味線] 守啓伊子 [琵琶] 久保田晶子 [胡弓] 帯名久仁子(助演)
[箏Ⅰ] 伊藤麻衣子 [箏Ⅱ] 桜井智永 [十七絃] 佐藤里美
[小鼓] 尾崎太一 [大鼓] 富田慎平 [太鼓] 盧慶順

原曲の地歌箏曲『八千代獅子』は、「獅子おどり」を唄った尺八の曲(作者不詳)を寛保年間(1741～1744年)に政島検校が胡弓に、藤永検校が三絃に移し、園原検校が歌をつけ、祝賀の曲として世に広まったもので器樂的間奏部に比重のある「手事物」の一つである。

1976年の第34回定期演奏会〈伝統音楽演奏会 地歌・箏曲その一〉にて、古典の継承のために必要欠くべからずものとしての「型」を正確に伝える重要性を理解の上、現に生きている人間の喜怒哀楽にも関わり、人々の心の中に脈々と伝えられる音楽にほんの少し息を吹きかけてみたらどうなるかという試みで初演された。唄を管樂器が歌い、琵琶や十七絃などを取り入れ、さらに長唄囃子で獅子の舞踊を彷彿とさせる部分が挿入されて純器樂曲として現代に蘇った古典である。

大津絵幻想

長澤勝俊 作曲(1981年)

[笛] 竹井誠
[尺八Ⅰ] 阪口夕山 [尺八Ⅱ] 川俣夜山 [尺八Ⅲ] 饗庭凱山
[三味線Ⅰ] 二代目 三山貢正 [三味線Ⅱ] 簗田弘大
[琵琶] 藤高理恵子 [胡弓] 帯名久仁子(助演)
[箏] 三宅礼子 [二十絃] 渡辺正子 [十七絃] 丸岡映美
[打樂器] 盧慶順 山内利一
[指揮] 苫米地英一

江戸時代、近江国(滋賀県)大津の追分周辺で売られていた民芸絵画であり、全国津々浦々まで広まり親しまれた「大津絵」。そこには、当時の民衆の哀歓や世相諷刺が、泥絵具を用いてユーモラスなタッチで画かれている。

この「大津絵」より5つ、《鬼の念仏》《藤娘》《瓢箪鯨》《長刀弁慶》《雷と太鼓》を題材とし、強烈な画題の奥深くに潜む民衆の誇らない自然の姿、智慧と余裕を日本樂器の音に託し表現されている。

作曲者が愛情を持ち続けた日本の民俗芸能や民芸品。それらの持つ原点を拠り所に、我々日本民族の共通項を日本樂器にて表現するという、「人形風土記」より始まる一連の制作姿勢の延長線上に位置する曲と言える。

1981年第67回定期演奏会にて初演。

Fortunate Music
Through The Power
Of Otodama.

音
楽
の
信
託

わらべうたラプソディー

秋岸寛久 作曲(2017年)

[笛] 新保有生 芝有維 [尺八Ⅰ] 元永拓 [尺八Ⅱ] 洲上ラファエル広志
[三味線] 杵家七三 [琵琶] 藤高理恵子
[箏Ⅰ] 久東寿子 [箏Ⅱ] 喜羽美帆 [十七絃] 石井香奈
[打楽器] 多田恵子 富田慎平
[指揮] 稲田康

「ひらいたひらいた」「かごめかごめ」「うさぎうさぎ」「ほたるこい」「ずいずいずっころばし」など、全国的に知られていると思われるわらべうたのモチーフを使って、構成しました。原曲が判別できないほど加工しても元の雰囲気が残っているのは、シンプルなメロディーならではの力強さなのでしょう。わらべうたの世界と程よい距離を保ちつつ、おおいに遊ばせていただきました。お楽しみください。(秋岸寛久)

2017年第220回定期演奏会にて初演。

古代舞曲によるパラフレーズ

三木稔 作曲(1966年)

[ソプラノ・ヴォーカリーゼ] 別府美沙子(客演)
[笛] 新保有生 [尺八Ⅰ] 原郷隆 [尺八Ⅱ] 田野村聡
[三味線] 山崎千鶴子 [琵琶] 久保田晶子
[箏Ⅰ] 熊沢栄利子 [箏Ⅱ] 桜井智永 [十七絃] 久本桂子
[打楽器] 多田恵子 山内利一
[指揮] 田中元樹

日本民族の古代の荒々しさ、熱さ、衝動の中にこそ真に現代に通じる若々しい、多彩な音楽性がありうるのだという作曲者の信念の溢れた大作で、現代邦楽の一時期を画した作品。NHKの委嘱により1965～66年に作曲、第4回定期演奏会で初演された。

- 〈前奏曲〉器乐的構成美を意図した簡潔な様式で書かれ、後に続く4曲を集約しながら、独特な古典的構成と、その中に散りばめられた民族的要素を感じさせる。
- 〈相聞 そうもん〉万葉の恋の歌。ヴォーカリーゼに各楽器がそれぞれ異なった表情で重なり合い、応答し合う叙情的な楽章。
- 〈田舞 たのまい〉田植えの神事の舞、大胆なリズムを持ったスケルツォ。三味線と篠笛以外の奏者はいろいろな打楽器を持って賑やかに打ち囃す。
- 〈誄歌 るいか〉葬祭の歌。重々しい低音尺八の流れに、もう一管の尺八の衝動的な動きが絡み、箏群の響きと共に慟哭となって地の底から突き上がる。
- 〈嬬歌 かがい〉上代、男女が集まって互いに歌を詠み交わし舞い遊んだことをいい、「歌垣」とも書き後世の盆踊りの起源とも言われる。人間の性的本能に根ざした興奮が、遠いざわめきから次第に高調して頂点に達し、やがて跛行的に去っていく。



ソプラノ 別府美沙子 *Misako Beppu*

東京音楽大学声楽専攻声楽演奏家コース卒業、同大学大学院声楽専攻オペラ研究領域修了。2008～2012年イタリア・ミラノに留学。第5回リッソーネ音楽コンクール(伊)第2位。第4回浜響ソリストオーディション第1位入賞。第53回日伊声楽コンクール入選。

イタリアでは2011年バンディエーノ市「リゴレット」ジルダ、2012年ヴィメルカーテ市「セヴィリアの理髪師」(演奏会形式)ロジーナで出演。また国内でも2016年立川市民オペラ「ラ・ボエーム」ムゼッタ、2017年、2019年小澤征爾音楽塾「カルメン」フラスキータ・カヴァーキャスト、2018年文京区民オペラ「愛の妙薬」アディーナ、2018年東京オペラ「魔笛」夜の女王、2019年荒川区民オペラ「仮面舞踏会」オスカルで出演。藤原歌劇団には「ジャンニ・スキッキ」ラウレッタでデビュー。高橋薫子、L.セッラの各氏に師事。藤原歌劇団団員、日本オペラ協会会員。

特定非営利活動法人 日本音楽集団 正会員(団員)

【笛】 あかる潤 遠藤悠紀※ 芝有維 新保有生 孫瀟夢 竹井誠	【三味線】 杵家七三 長井麻江 二代目三山貢正 穂積大志 箕田弘大 箕田司郎 守啓伊子 山崎千鶴子	【打楽器】 白杵美智代 尾崎太一 島村聖香※ 多田恵子 富田慎平☆ 山内利一 盧慶順	【名誉代表】 田村拓男
【笙】 三浦はな	【箏】 石井香奈 伊藤麻衣子 岡山亮子 久東寿子 熊沢栄利子 桜井智永 佐藤里美 島崎春美※ 城ヶ崎美保 久本桂子 丸岡映美 三宅礼子 森真理子 山田明美 喜羽美帆 渡辺正子	【指揮】 稲田康 田中元樹 田村拓男 苦米地英一	【代表】 尾崎太一
【箏】 三浦はな	【琵琶】 久保田晶子 田原順子 藤高理恵子	【作曲】 相澤洋正 秋岸寛久 川崎絵都夫※ 篠田大介※ 高橋久美子 福嶋頼秀	【副代表】 米澤浩
【尺八】 饗庭凱山☆ 大賀悠司 川俣夜山☆ 阪口夕山 田野村聡 原郷隆 藤崎重康 湖上ラファエル広志 三橋貴風 元永拓 米澤浩 渡辺淳	【箏】 石井香奈 伊藤麻衣子 岡山亮子 久東寿子 熊沢栄利子 桜井智永 佐藤里美 島崎春美※ 城ヶ崎美保 久本桂子 丸岡映美 三宅礼子 森真理子 山田明美 喜羽美帆 渡辺正子	【アートマネジメント】 大西愛子※	【事務局】 中山美穂子 【永久名誉団員】 長澤勝俊
☆印は新入団員 ※印は休団中 2021年4月現在		【楽器・舞台】 中島隆	

賛助会員へのお誘い

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に賛助会員を募集しています。多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動の定着と発展を目指したく、ご協力をお願い申し上げます。

賛助会員 | 賛助口数・五十音順(2020年度)

【法人会員】

日凸運送株式会社

【個人会員】

山本福八

伊藤美好 伊藤憲夫 柿崎やよい 佐藤玲子
友杉 毅 奈良英子 西川浩平 堀 保之
三宅一徳 元永明希 元永美代子 森 繁美
(他2名、計15名)

年会費

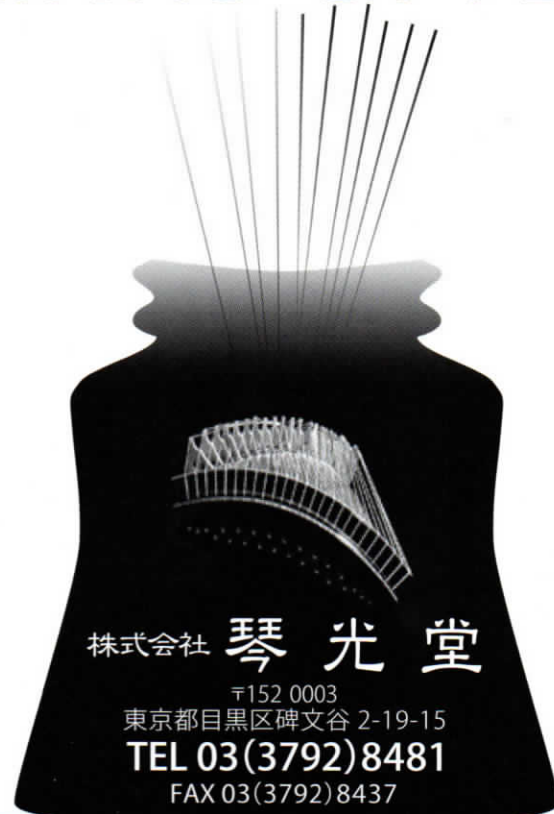
個人会員 10,000円(一口以上) 法人会員 30,000円(一口以上)

●年間3回の定期演奏会への招待状をご送付

詳細は日本音楽集団事務局までお問い合わせください。またホームページにおいても申込み方法など詳しくご案内しております。



KINKO STYLE



株式会社 琴光堂

〒152-0003

東京都目黒区碑文谷 2-19-15

TEL 03(3792)8481

FAX 03(3792)8437

特定非営利活動法人
日本音楽集団

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビルB1F
TEL 03-3378-4741 FAX 03-3376-2033
<http://www.promusica.or.jp/>